

きよら学推進部会

学校 (学年)	中原小学校 低学年	市原小学校 中学年	りんどうヶ丘小学校 高学年	南小国中学校
学年 4Cと関係 (※欄外参照)	①小1・7月「合同学習」 4Cとの関係：	⑥小3・5月「きよらの郷」 「日本で最も美しい村連合」 4Cとの関係：	⑥小5・2月 「南小国町の林業」 4Cとの関係：	④中1・9月「民泊農業体験」 4Cとの関係：
内容	生活科「たんけんて見つけたことをはなそう」で、町の給食センターを見学し学校生活の一部である給食について学ぶ。また、地域にある温泉を探検し、みんなで楽しみながら町内の1年生のコミュニケーション能力を育む。 	総合的な学習の時間において、わたしたちが住む南小国町がきよらの郷と呼ばれている意味を知り、日本で最も美しい村連合としてどんな活動をしているか共有する。自分たちのふるさとのことについて詳しく知り、郷土を愛する心情を高める。 	社会科で、産業としての林業について、特に小国杉の活用を考える学習である。今までの林業と、これからの林業（新しいエネルギー資源としての活用法：バイオマス燃料、ペレットストーブなど）についての講話を聞く。 	「南小国町の農業を発展させるためにできること」をテーマとし、農業体験を実施。農業のやりがいや地域特性を生かした農産物の育成、自然災害への備えなどを体験活動を通して学ぶ。また、体験先で採れた作物を使って料理を考え、調理する。地域で採れた作物をどのように地域おこしに繋げていくのかを考えることで、地域産業の発展に貢献する態度を養う。
小学校 3校の合同 地域学習 ①	①小2・9月「合同学習」 4Cとの関係：	⑥小4・9月「南小国町の震災への備え」 4Cとの関係：	⑥ その他の「役場各課の出前授業」 ★小3・12月「南小国町の火災への備え」 ★小4・5月「南小国町のきれいな水」 ★小4・6月「南小国町のゴミの処理」 ★小5・7月「南小国町の農業」 ★小5・9月「認知症学習会」 ★小6・6月「南小国町の福祉」 ★中1・2月「認知症に関する学習会」	⑤中2・6月「まちインターン」 4Cとの関係：
ふるさと 学習 ①	生活科「みんなでつかうまちのしせつ」の単元で、身近な町の方々がどのようにわたしたちを支えてくれているのかを知るため、南小国町役場、図書室、きよらカーサを見学に行き学習する。 	社会科で自分たちのふるさとは、どんな自然災害が起こる可能性があるか、どんな行動をとるべきか考える。実際2016年の熊本地震の時の被害について知り避難するときの心がまえを改めて学習する。 		課題協働型インターンシップ。事業所の皆さんの「働く」ことに対する思いや大事にしていることを取材した上で、3日間の中で「その事業所のファンを増やす（ファンチャレンジ）」ことを目的に、事業所の皆さんと共に協働するインターンシップである。
きよら学 中心行事 ②③④⑤ ⑧	①小3・11月「合同学習」 4Cとの関係：	②小4・7月「里山自然体験活動」 4Cとの関係：	きよら学で 使用するツール 	⑧中3・12月「子ども会議」 4Cとの関係：
役場 各課の 出前授業 ⑥	社会科単元「はたらく人とわたしたちのくらし」の学習として、小国町のスーパーマーケットを訪問し、実際に働いている方から工夫や苦労、楽しさなどの話を聞く。 	満願寺吉原地区と立岩水源において、五感を使って行うネイチャーゲームや沢登りを体験する。本活動を通して、4年生児童同士の交流を図り、南小国町の自然の豊かさを感じ取ることで、郷土愛の涵養を図る。 		1年時「民泊農業体験」、2年時「まちインターン」、3年社会科公民的分野「地方自治」等の学習を通じて、南小国町の現状から、町づくりについて考え、町議会等と意見交流を行う。南小国町の将来を展望し、「南小国町共有ビジョン」につながる活動である。
ドローン プロジェ クト ⑦	⑦全学年「ドローン体験」11月 南小国町のドローンを活用した町づくりを理解するため、小学校の1年生から6年生までの全学年でドローンの体験（ドローン操作、ドローンサッカー）を行う。ドローンに輪をくぐらせたり、パイロンにあたらないように上下左右に動かしたりする体験を通して、ドローン操作技術の習得を目的としている。 	4Cとの関係：		⑦中1・11月「ドローン体験」4Cとの関係：
	③小1～中2 10月 「南小国町 小中学生 プレゼンテーション大会」 	4Cとの関係：	これまでの学習を活かして、更に広い視野で自分の考えを持ち、考えをまとめ、資料を整理して伝える機会としている。また、将来の南小国町を担う子どもたちのICT技術と自己表現力の技術を高め、町を担おうとする意欲作りの場とする。各学校から選ばれた代表者13人が発表を行う。	